



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和7年 3月 3日

第 13 号

さいたま市立日進中学校

TEL 048-663-1251

FAX 048-663-0834

『 SNS 』

校長 小熊 誠

寒なくなってきました。日本の冬です。保護者・地域の皆様もどうぞ御自愛ください。しかし、そんな寒さも、毎朝生徒たちと交わす、アイコンタクトと軽い会釈のある挨拶、そして笑顔に吹き飛ばされ、さらにやる気と元気を貰っています。また、通勤等で学校付近を通られる地域の皆様の生徒たちを見守る優しい眼差しと振舞い、通園バスの中から手を振ってくれる園児や、運転手、保育士の皆様の温かさに感謝の気持ちでいっぱいです。日進の素晴らしい1日の始まりです。そんな中、2月20日の学校運営協議会では、会長から、スマイル委員会に右の認定証書が授与されました。「生徒の生徒による生徒のための学校」の進化の始まりです。来年度、いよいよ生徒たちは、「学校の主役から地域の主役へ」と、次のステージに進みます。生徒たちの「メガ進化」に御期待ください。また、2月26日・27日には県公立高校の学力検査・実技検査・面接が実施されました。日進では約7割の生徒たちが挑みました。発表は、3月6日です。勝負に挑んだ全ての生徒たちの輝く笑顔を信じています。

さて、日進でも来年度からタブレット端末の持ち帰りを始める予定です。そこで今回は、SNSについてお話します。現在、日進では、各家庭でSNSについて、しっかりと話し合い、約束を決め、学校に提出していただいています。また「スマイル委員会」で、ルールの検討にも入っています。「便利な物にはトゲがある」という理もあります。日進では、機械や道具に使われないように、便利な物を便利に、皆が気持ちよく使えるように「心の教育」「情報モラル」「シティズンシップ」の教育にも尽力していきたいと考えています。私たち教職員も、2月19日には帝京平成大学の村山先生を迎え研修を実施する等、学びをさらに深めて参ります。そして、3月18日には警察による生徒と保護者の皆様合同の講演会を予定しています。来年度は、スクールロイヤーによる講演会に、保護者の皆様にも参加していただけるよう計画しています。生徒・教職員と保護者・地域の皆様が、一体となって進めていくことが、これからのSNSの活用には必要十分条件になってくると思います。皆様のお力が必要です。

では、何から始めればいいのか。まず、御家庭でお子様と向き合ってじっくりと話し合うことからだと思います。実は、私の家庭でもその話し合いの真っ最中です。以前にもお話した通り、私の家庭では、私、カミさん、息子の携帯電話のパスワードが同じです。すなわち誰でも、いつでも、誰の携帯電話を見たり、使ったりすることが可能です。息子は高校2年生ですが、今まで何も言わずにきていました。ところが、先日、息子がもう一つアカウントを持っていることが発覚しました。昨年の夏休みに作ったそうです。私もカミさんもショックでした。しかし、秘密を持つことは大人になっていく証でもあると思っています。別アカウントは削除せず、共通のパスワードも変えずに、自覚と責任のある使い方をするよう話し合いが進んでいるところです。息子は、私がイロイロな所で、知らないうちに写メを映され、勝手にX等にアップされ、拡散され、イヤな思いをしていることを、十分知っています。だから、「自分は、許可なく、人の写真はアップしない」とは言っています。ただ、これは本当に難しい問題です。行事や、旅行等、何かの記念に写真を撮ったら、誰かが映り込む可能性が大です。その記念写真を誰かに送る際、映り込んだ人全部に確認をとることは、まず不可能です。だから、私は校長になったとき、フェイスブックを止めました。まして、誰かを映して、それを許可なく、誰かに送ることは、本当に許されることなのでしょうか？しかし、実際には今、普通に行われていることなのかもしれません。皆が気持ちよく、便利に暮らしていくために、これから大事なことは、何がダメで、何が必要で、何から始めればいいのかを、生徒たちを含め、じっくりと考え、話し合いを続けることだと思います。どうぞよろしくお願ひします。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

